

インドネシア、バンドン市の高校生に対する 参加型総合環境教育プログラムの開発と実践

活動地域  インドネシア

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

生徒参加者 **500人**

改善事例収集 **1,500件**

今年度計画の達成度 **100%**

全体計画の達成度 **85%**



改善成果フェスティバルで発表する生徒たち

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

新型コロナウイルスの影響が続いていて、各家庭を訪問して改善を収集することができなかった。生徒によるSNSを使った収集を行った。

■ 工夫した点

改善成果を発表するためフェスティバルを各校で企画、またFMラジオ局のトークショーに出演した。国際的に活動を宣伝するために、各校経験交流会を行った。

課題

バンドン市の高校生が学校・家庭で直面する環境問題を多面的に理解し、低コストで実効ある解決策を見出す方法を、参加型活動を通じて定着させ、全ての高校に拡大する。

目標

参加型総合環境教育をバンドン市各学校が自主的に継続し、生徒が好事例に着目して、学校・家庭・地域で参加型環境改善活動を行い、実際的な変革を継続的に実践する。

活動内容と成果

公立高等専門学校Majalaya1校で、本プログラムを実施し500人の生徒が各クラスで改善活動を実施し、校内外1,500の改善が収集された。改善成果は各生徒に配布した「WINDY (Work improvement in Neighbourhood Development for Youth) 日記」という改善成果収集ノートに記載された。2023年2月のフェスティバルには、その成果が各クラスごとに発表された。2021年に実施したSMAK BPPK校では、生徒による実行委員会が結成された。



教員トレーナー養成風景

全助成期間の活動を振り返って

新型コロナウイルス感染拡大の中、学校閉鎖や入校制限の中、リモート環境も使って行った。

改善成果は生活改善、校内美化、授業改善等多岐にわたり、改善数も約2,000にのびた。成果をWINDYブックレットにまとめて今後の活動にいかしていく。

本活動を通じてLIONでは20代のファシリテーターが育ち、各校では20人程度の教員トレーナー、生徒による実行委員会ができた。本活動で生徒数が2倍以上増えた学校もあった。



使用済みペットボトルで創作活動

Jalan Manjah Beurum Rt / Rw 02/03 Cileunyi Kulon Village, Cileunyi District, Bandung
電話 : +02263735095
E-mail : ajatsudrajat.lion@gmail.com
HP : <http://lionindonesia.org/>



今後の展望

教員トレーナー、生徒の実行委員会が各校にできたことにより、自立的な活動が続く土台ができた。バンドン市の教育部が本プログラムを認知したことで、今後市内に100ある高等専門学校への拡大が期待される。

